

令和7年5月食品ロス実態調査報告書
秋田市食品ロス実態調査報告書

令和7年6月30日発行

1 実施概要

■実施日時	令和7年5月22日（木）、23日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター
■作業時間	8：30～17：00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ14名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者職員のべ6名（食品ロス調査）
■調査資料	<ul style="list-style-type: none">・表記調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。・調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【5月22日】 中央（檜山11袋）、東部（東通10袋）、西部（新屋元町又は日吉町5袋）、南部（御所野8袋）、北部（下新城中野6袋、金足6袋）、河辺・雄和（河辺4袋） 【5月23日】 中央（川尻6袋、大町6袋）、東部（添川4袋、旭川4袋）、西部（新屋勝平町6袋）、南部（上北手8袋）、北部（飯島12袋）、河辺・雄和（雄和4袋）・調査資料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約100kgとした。

2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

(1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

(2) 作業内容

- ・調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重量を計量した。
- ・食品廃棄物のうち、手付かず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・手付かず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、6地区の100袋の合計重量は、328.5kg、1袋あたりの平均重量は約3.3kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要（秋田市）

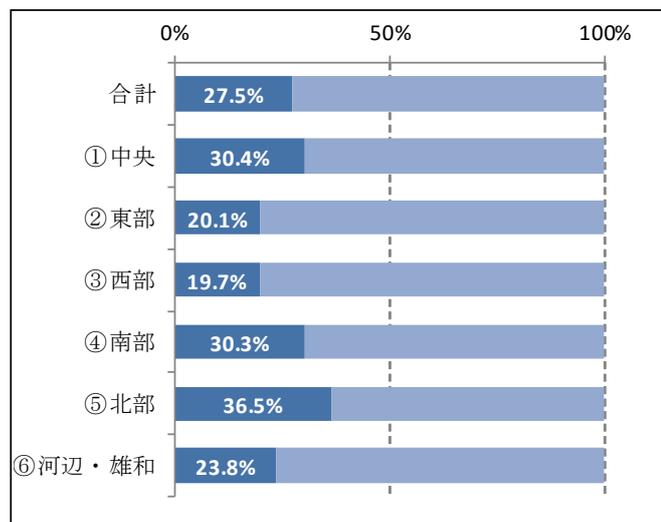
	袋数（個）	重量（kg）	容量（L）	袋あたり	
				重量（kg）	容量（L）
合計	100	328.5	3,440	3.3	34.4
①中央	23	75.8	775	3.3	33.7
②東部	18	64.8	670	3.6	37.2
③西部	11	42.1	395	3.8	35.9
④南部	16	58.8	550	3.7	34.4
⑤北部	24	59.9	735	2.5	30.6
⑥河辺・雄和	8	27.1	315	3.4	39.4

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、6地区の合計割合では、27.5%となっている。

地域別に見ると、⑤北部が最も高く36.5%、次いで①中央の30.4%、④南部の30.3%、⑥河辺・雄和の23.8%、②東部の20.1%、③西部の19.7%となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	328.52	90.50	27.5%	72.5%
①中央	75.77	23.02	30.4%	69.6%
②東部	64.77	13.01	20.1%	79.9%
③西部	42.14	8.32	19.7%	80.3%
④南部	58.79	17.84	30.3%	69.7%
⑤北部	59.93	21.85	36.5%	63.5%
⑥河辺・雄和	27.12	6.46	23.8%	76.2%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

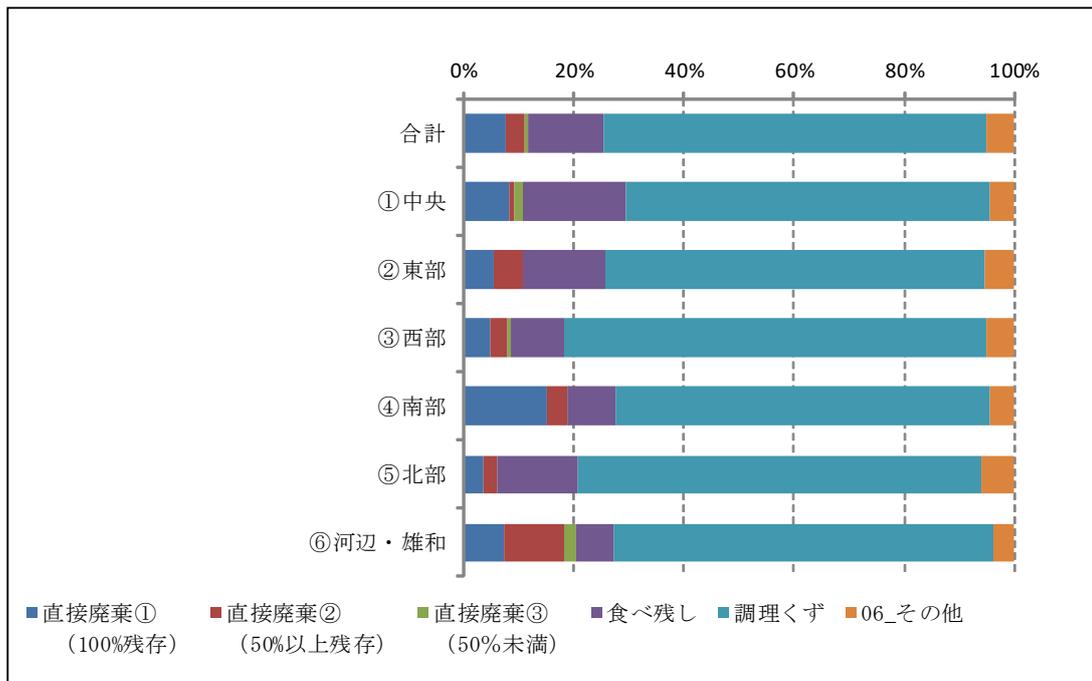
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計割合では25.3%となっている。

地区別に見ると①中央が最も高く29.6%、次いで④南部の27.7%、⑥河辺・雄和の27.5%、②東部の25.7%、⑤北部の20.7%、③西部の18.4%となっている。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計割合では、まったく手付かずの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち7.8%を占めており、④南部で15.2%と高く、次いで①中央が8.3%、⑥河辺・雄和が7.5%、②東部が5.6%、③西部が4.9%、⑤北部が3.7%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計割合では13.6%となっている。①中央が18.8%と高く、次いで②東部が15.0%であり、⑥河辺・雄和が最も低く6.9%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	25.3%	7.8%	3.4%	0.6%	13.6%
①中央	29.6%	8.3%	1.0%	1.5%	18.8%
②東部	25.7%	5.6%	5.1%	0.0%	15.0%
③西部	18.4%	4.9%	3.1%	0.5%	9.9%
④南部	27.7%	15.2%	3.6%	0.1%	8.8%
⑤北部	20.7%	3.7%	2.4%	0.0%	14.6%
⑥河辺・雄和	27.5%	7.5%	10.8%	2.2%	6.9%

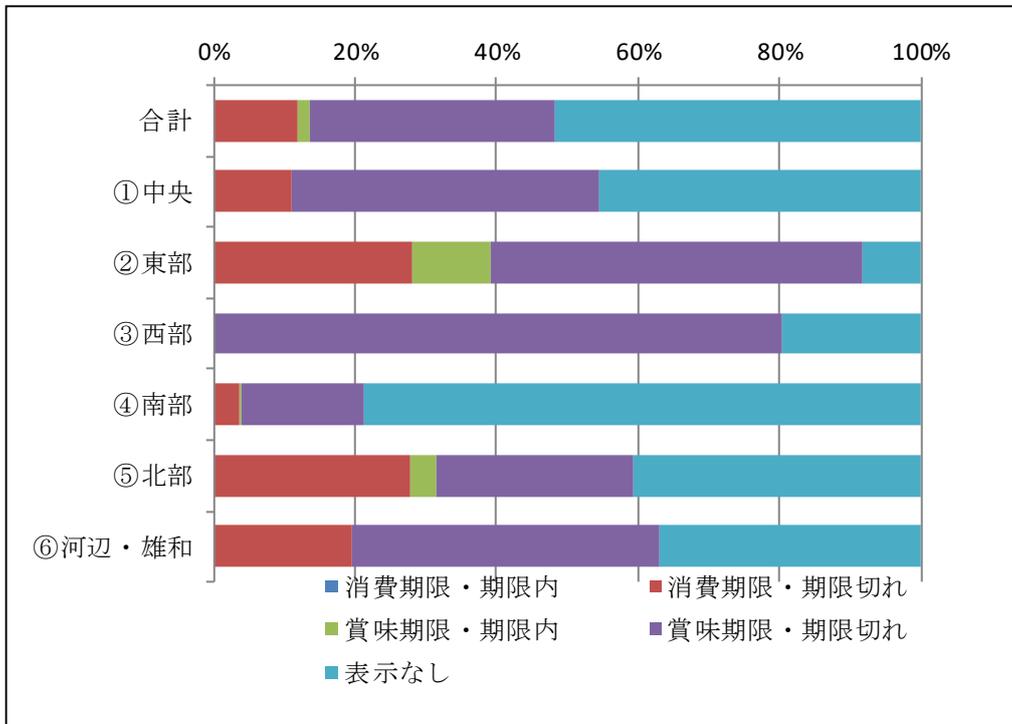
※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計割合では「表示なし」が最も多く51.8%であり、消費期限の表示があったものは11.8%（期限内はなしで、期限切れが11.8%）、賞味期限の表示があったものは36.4%（期限内が1.7%、期限切れが34.7%）となっている。

消費期限に着目すると、（100%手付かず）のうち「期限内」のものはなしで、「期限切れ」については、②東部地区で最も高く28.1%であった。賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち1.7%、地区別に見ると②東部地区が最も高く11.0%であった。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



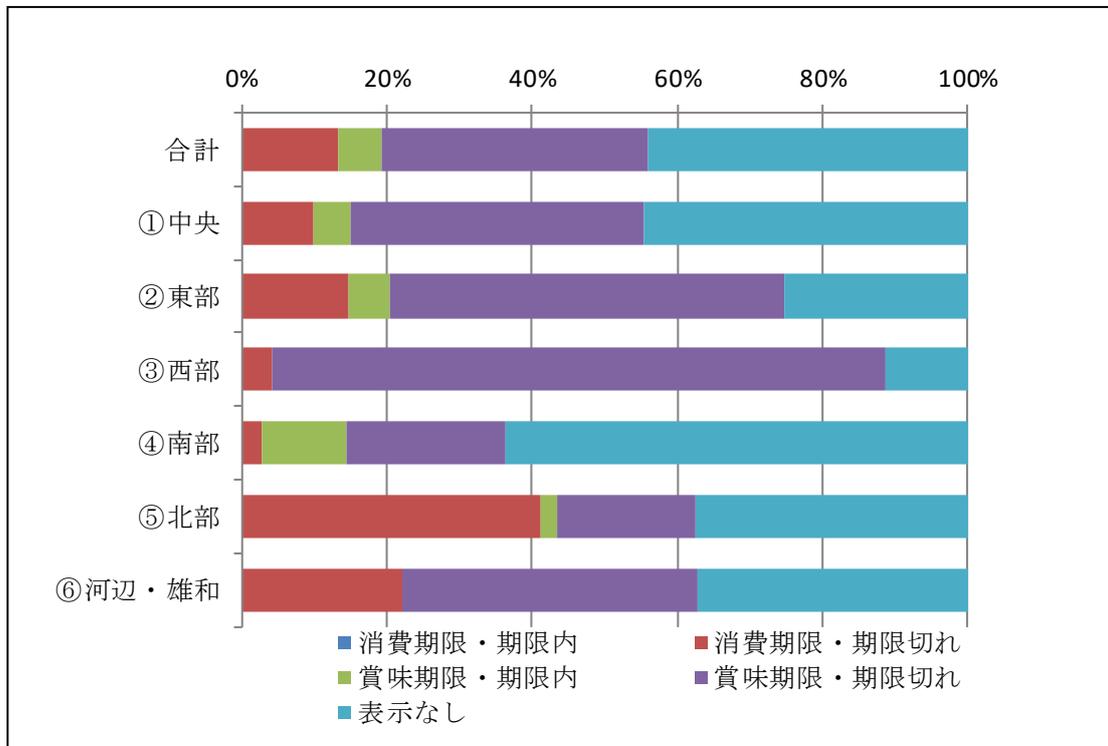
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	11.8%	1.7%	34.7%	51.8%
①中央	0.0%	11.0%	0.0%	43.5%	45.5%
②東部	0.0%	28.1%	11.0%	52.7%	8.2%
③西部	0.0%	0.0%	0.0%	80.5%	19.5%
④南部	0.0%	3.7%	0.4%	17.3%	78.7%
⑤北部	0.0%	27.8%	3.7%	27.8%	40.7%
⑥河辺・雄和	0.0%	19.6%	0.0%	43.3%	37.1%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「賞味期限（期限切れ）」が最も多く36.6%であり、消費期限の表示があったものは13.4%（期限内はなし、期限切れ13.4%）、賞味期限の表示があったものは42.5%（期限内5.9%、期限切れ36.6%）となっている。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち5.9%となっている。地区別に見ると⑤北部地区が最も高く11.6%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	13.4%	5.9%	36.6%	44.0%
①中央	0.0%	9.9%	5.2%	40.2%	44.7%
②東部	0.0%	14.6%	5.7%	54.3%	25.4%
③西部	0.0%	4.2%	0.0%	84.5%	11.3%
④南部	0.0%	3.0%	11.6%	22.0%	63.5%
⑤北部	0.0%	41.3%	2.2%	19.0%	37.5%
⑥河辺・雄和	0.0%	22.2%	0.0%	40.6%	37.2%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、令和6年度の実績を参考に一人1日当たりの食品ロス発生量を推計すると32.9g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が15.3g/人/日、食べ残しが17.6g/人・日と推計された。

図表6 一人1日当たりの食品ロス発生量（秋田市）

